

# みかい

安住院便り  
(第38号)

平成29年1月1日発行

〒703-8236

岡山市中区国富3丁目1-29

住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

## 准胝（じゅんでい）観音

昨春秋、現住職と不思議な縁があつて、新しい観音様が本堂にいらつしゃいました。

准胝（じゅんでい）観世音菩薩座像で、身丈十五センチの可愛らしいお姿です。

観音様は、様々なお姿に変化される菩薩で、安住院の御本尊は千手観音様ですが、一般的に、六観音が有名です。それは、聖観音・千手観音・十一面観

音・如意輪観音・馬頭観音と准胝観音です。他に、不

空絹索観音を加える場合もあります。

更に、准胝観音は、仏母として祀られることも多く、真言宗で大切にされてきた仏様です。

平安時代に安住院を中興したとされる聖宝尊師は、京都の醍醐寺を創建された偉いお坊さんです。その聖宝尊師が、醍醐寺に准胝観音を勧請して祀り、時の天皇の皇子誕生祈願を修して、素晴らしい効験があつたとされています。よって、真言宗では、延命・安産・子授の他、息災の祈願によく用いられてきました。



准胝観音のお姿は、一般的に一面三目十八臂の座像が有名です。醍醐寺の観音像は、観音様が座る蓮華座の下を、眷属の難陀・跋難陀の二つ龍王が支える像ですが、この度の安住院に祀った観音様も同じお姿をされています。

六観音は、私たちが輪廻すると言われる迷いの世界である六道を、それぞれ守護するとされ、聖（地獄）、千手（餓鬼）、馬頭（畜生）、十一面（修羅）、准胝（人）、如意輪（天）に配されます。

よって、准胝観音様は、特に私たち人間世界の、様々な迷いの人々に対して、優しい慈悲を捧げて下さる仏様です。現在の私たちは、見放されるかも知れませんが、それでも、信仰を持って祈り続ければ、きっと助けて下さる、大切な観音様です。

御本尊千手観音様と同様に、本堂内で大切に祀っていきたいと考えています。

お寺は、檀信徒のご先祖様を回向する所ではあります。同時に皆様が幸せに暮らせるよう、仏様にお願ひする所でも有ります。個別の特別御祈念等もお請け致しますので、気軽にお越し下さいますよう、お願い申し上げます。

合掌

## 初観音法会のご案内

来る一月十七日（火曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈祷も申し受けますので、三日前までにご連絡下さい。

### （生駒 善勝）（その⑧）

#### 《高野山奥の院・燈籠堂》

##### 「消えずの火」 第三回

お照の前に現れたお坊さんは、円蔵坊快恵といい、高野山に縁のある方でした。快恵が言うには、昨夜夢のお告げがあり、祈親上人という偉い人が、高野山麓神谷の宿に行き、お照の願いを聞くように伝えたのです。

この上人は、奈良の長谷寺の観音様からお告げを受け、高野山に燈籠を献上され、

高野山の伽藍の復興にとても尽くされた上人なのでした。

快恵は、お照の苦勞を全て分かっていて、「明日、女人堂まで一緒に行き、その願いを叶えるべく力添えをする」と丁寧に教え諭してくれました。お照は、うれしさのあまり、手を合わせると、涙がこぼれて止まりませんでした。そして、春三月二十一日の奥之院新燈籠供養の日になりました。

今回は、藪坂長者が奉納した一万基という沢山の燈籠が献上され、高野山の山内全ての僧侶による供養法会の中、長者も願いを成し遂げた満足感に満ちあふれていました。その一万基の燈籠を見上げていた長者の目に、見知らぬ小さな燈籠があることに気が付き、「あれは、誰の燈籠だ。邪魔だから外せ」と怒鳴りました。

快恵が、お照の話をもっと聞かせてもらえませんでした。（・・・次号に続く）

### 摂津観音霊場参拝②

昨年十月二十七日、摂津観音霊場の第四回目の参拝を行いました。今回は霊場西部、三田市・宝塚市方面の六ヶ寺でした。

台風一過の秋晴れの下、絶好のお参り日和になり、少し歩く札所もありましたが、皆さん元氣よく参拝を続けることが出来ました。

なかなか霊場巡りでないと詣ることのない場所も多く、神戸市内近郊とは思えない山深い所でした。

西国三十三観音霊場を創設された花山法皇が、晩年に静かに生活を送られたとされる花山院菩提寺が付近にあり、法皇が氣に入られ、修行に適した自然が、今でも残っているような雰囲気を感じることが出来ました。

次の予定は、四月十四日（金）で、摂津霊場の第五回目です。是非ご参加下さい。

